

OpenRTM-aist (Python) - バグ #2354

ExecutionContextWorkerのデッドロック

2012/02/06 06:19 - n-ando

| | | | |
|---|----------|--------------|------------|
| ステータス: | 却下 | 開始日: | 2012/02/06 |
| 優先度: | 通常 | 期日: | |
| 担当者: | kurihara | 進捗率: | 100% |
| カテゴリ: | | 予定工数: | 0.00時間 |
| 対象バージョン: | | | |
| 説明 | | | |
| ExecutionContextWorkerにおいて、invokeWorkerXXX系の関数でm_compsをmutex保護しているため、Workerがブロッキングするケースで他の関数 (get_component_state()等) との間でデッドロック (あるいは単なるロック) が発生する。コンポーネントリストm_compsはWorkerXXXの最後で呼ばれるupdateComponentList()でのみ変更されるため、WorkerXXX()系関数ではロックを削る必要がない。 | | | |

履歴

#1 - 2012/02/08 23:42 - kurihara

- 担当者を kurihara にセット

#2 - 2012/02/10 18:01 - kurihara

- ステータスを 新規 から 担当 に変更

#3 - 2012/03/13 14:44 - kurihara

- ステータスを 担当 から 却下 に変更

- 進捗率を 0 から 100 に変更

Python版では、このチケットが発行された後に実装されたためWorkerXXX()系関数ではロックを使用していない。